

## 平成 28 年度 多賀城高校・東日本大震災メモリアル day にて基調講演，ならびに活動報告・ポスター発表で講師をつとめました(2017/03/04)

テーマ：防災教育

場所：宮城県多賀城高等学校（宮城県多賀城市）

3月4日（土）に、宮城県多賀城高等学校にて「平成 28 年度東日本大震災メモリアル day」が行われました。これは、同校が災害科学科を創設したことを受け、全国の高校生を中心とした若者が、自らの課題研究などの成果を発表し、意見交換することで、東日本大震災の経験と教訓を後世に継承することを目的に開催されたものです。当研究所の佐藤健教授、佐藤翔輔助教（情報管理・社会連携部門）は、各校の活動報告やポスター発表に参加し、講師として各種の発表にアドバイスしたり、質問をしたりしました。

以下は、発表した高校・中学校とその発表内容の概要です：

- 北海道 室蘭栄高等学校（地形変化の模型実験）
- 青森県 八戸北高等学校（自校の防災学習プログラム）
- 岩手県 釜石高等学校（助けられる人から助ける人へ）
- 福島県 磐城高等学校（津波痕調査・津波避難）
- 福島県 ふたば未来学園高等学校（地域の放射能汚染測定）
- 兵庫県 舞子高等学校（環境防災科の学習や支援の取り組み）
- 兵庫県 神戸大学附属中等教育学校（被災地訪問を通じた学習効果）
- 兵庫県 芦屋高等学校（津波避難のシミュレーション）
- 新潟県 県央工業高等学校（地域防災体験プログラム）
- 宮城県 石巻西高等学校（日本と海外の防災の違い）
- 宮城県 多賀城市立東豊中学校（防災マップづくりと意識調査）
- 宮城県 多賀城高等学校（災害科学科等の防災学習プログラム）

いずれも熱心かつ充実した研究内容・発表であり、会場は熱気に包まれていました。

また、佐藤健教授は「DRR\*の実現に向けて高校生に期待すること」と題した基調講演も行いました。 \*DRR：Disaster Risk Reduction = 防災



ポスター発表での質疑応答（右：佐藤健教授）



参加した生徒のみなさん

文責：佐藤健，佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）